

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
1	総務部会	秘書企画課	広報紙発行事業	読みやすく親しまれる広報紙を作成して、市の主要施策や重要課題等の情報を市民に分かりやすく伝える。	毎月15日を発行日とし、市内の各世帯、事業所及びコンビニなどへ広報紙を配布している。世帯配布は町内会を通じて行い、市役所本庁、各地域局及び各地域市民センターで仕分けされた配布物は、一部の地域市民センターを除き業者によって町内会長へ配達される。併せて、市ホームページや電子書籍などへの掲載も行っている。令和6年度は紙面構成を24ページを基本とし、毎月11,900部発行。また、朗読の会と連携し、視覚障害者向けの「声の広報」も掲載。	6,343	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	変化なし	今年度から外部委託となるが、紙面の構成など市民が読みやすいように努めること。また、市の施策を享受している市民の声を取材し掲載することも重要。紙面に市民を登場させることによって親しみのある広報紙となる。	他の広報手段の充実を図り、さらなるコスト削減についても検討してください。
2	総務部会	秘書企画課	シティプロモーション推進事業	高梁市シティプロモーション戦略に基づき、本市の認知度向上とイメージアップを図るため、地域の魅力を発信するシティプロモーション活動を進める。	・認知度の向上と交流・関係人口の拡大に向けたアウトプロモーション ・移住の促進に向けたアウトプロモーション ・シビックプライドの醸成に向けたインナープロモーション	5,501	適切	適切	改善の余地あり	変化なし	変化なし	市の様々な取組を発信することがシティプロモーションの活動につながる（せっかく制作した動画CMコンテンツ作品をうまく発信する方法はないものか）。情報発信を工夫し、高梁市を売り込み、住民のシビックプライドにつながるよう取り組んでほしい。	豊富な地域資源また移住支援や子育て支援等の充実した制度といった本市独自の価値が外部へ伝えられていないのが長年の課題であり、ターゲット層に対して、最も効果的な手法、ツールによりプロデューサーとしての戦略的な情報発信を図ってください。
3	総務部会	デジタル・未来戦略課	DX推進事業	デジタル技術を活用して業務効率化を図り、ニーズに即した利用者中心の行政サービスの実現をめざし、地域社会の活性化をめざします。	高梁市DX推進計画の基本目標1～3に掲げる目標に向けてプロジェクトを実行していく	15,201	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	増加	デジタル技術を活用して業務の効率化を図ることは、市役所内部を横断的に推進していく重要な施策であり、地域にとっても活性化につながる。DX推進事業は強力に進めていく事業と考える。	個々の案件についての取り組みから、市役所全体の改革につながるよう進めてください。
4	総務部会	防災復興推進課	災害対策総務費（自主防災組織支援事業補助金）	地域の防災力の強化を目指して組織される自主防災組織の結成を促進し、その活動を支援するとともに、防災機材等の整備を図る。	災害時に地域住民が中心となり自助・公助によって避難所運営や要支援者支援など対応できるよう防災力の向上を図るため、自主防災組織を結成し、防災訓練、防災士養成、講演会・学習会開催、防災マップ作成、防災資機材整備を行うため必要な経費を補助する。	811	適切	適切	適切	変化あり	増加	能登半島地震の発生をはじめとして近年の災害多発の状況からも地域の防災意識は高まっており、またコンスタンスに自主防災組織が結成されている状況にあるなかで、本事業の妥当性・有効性・費用対効果等は十分なものとする。	継続
5	産業経済部会	農林課	地域特産作物生産団地育成事業	農業者が省力化等による生産性の向上や更なる産地としての耕作面積の拡大を目指す。	農業協同組合または農業者で組織する団体が産地の規模拡大や生産性の向上に取り組み、市場ニーズに対応した供給力の強化を図る。ぶどう、トマト、白桃の施設整備の支援を図る。	9,804	適切	適切	適切	変化あり	増加	担い手の確保、生産規模の拡大に向け継続して実施すべき事業である。	財源獲得のため、より有利な国庫事業を活用できるように、周辺産地と連携し、事業計画を工夫してください。

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費（千円）	目的妥当性	有効性	費用対効果	社会情勢・環境	ニーズ	部会長コメント	
6	産業経済部会	農林課	有害鳥獣被害防止対策事業（野猿出没パトロール業務委託料）	猟友会員へ委託して週3～4日程度、野猿の見回り、追払いを行い、野猿による農作物への被害を防ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>野猿の生息地域での農作物への被害状況及び行動域を見回りし、関係する地域市民センター及び住民に出没状況を知らせる。</li> <li>業務日に、業務を実施したのち活動日誌により状況報告を行う。</li> <li>過去の出没箇所地域を巡視し、住民からの聞き取り調査を行う。また、流星、爆竹の要望があれば配布を行う。</li> <li>野猿出没時には、被害の情報により追払いなど現場対応を行う。</li> <li>待機時間に市または市民より要請があれば、追払いなど現場対応を行う。</li> <li>住民に配布する流星、爆竹及び追払いに使用する3連花火は市が支給する。</li> </ul>	4,329	適切	適切	適切	変化あり	増加	農作物への被害による生産者の生産意欲減退を防ぐためにも継続して実施すべき事業である。	将来にわたり継続的に経費を必要とする事業であり、財源獲得のため、同じような事業を行っている他自治体と協力し、県等へ支援を要望してください。
7	産業経済部会	農林課	キャンプ場管理事業	恵まれた自然環境を休養の場として提供し、市民の健康の保持増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプ場開設期間4月第4土曜日から5月第2日曜日、7月第3土曜日から10月31日（高梁美しい森は8月31日）まで</li> <li>開設期間の管理は地元団体へ委託</li> <li>別途公園全体の管理も地元団体へ委託（公園管理事業として実施）。</li> </ul>	3,476	適切	適切	適切	変化あり	減少	管理をお願いしている地元の意欲もあり、できる限りの継続を望む。	利用客の減少や、管理する地元の負担増加により、現状を継続するのは困難になることが見込まれるので、キャンプ場は民間譲渡等を検討し、困難な場合は廃止や、自然公園として残す方向で検討してください。
8	産業経済部会	農林課	高梁市農業試験研究施設利用推進事業	本市の農業拠点施設とするため、県立川上農業高校の跡地を農業生産技術の研修施設、農業研究ほ場として活用。 <ul style="list-style-type: none"> <li>農作物の栽培等に係る研究・開発及び試験栽培</li> <li>農業機械等の研究及び実証実験</li> <li>新規就農者等、担い手確保・育成</li> </ul>	農業生産技術の研修施設、また農業研究ほ場として活用し、本市の農業拠点施設としての運営に必要な経費を計上。	2,209	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	農業振興に一定の成果はあるものの、拠点施設の老朽化がかなり進んでおり、継続して使用するには改修等が必要である。	事業が本市の農業振興にもたらした効果について、担当課で評価し予算要求時に報告してください。
9	産業経済部会	農林課	フラワーフルーツパーク管理事業	フラワーフルーツパーク（施設名：農業文化交流館）は、豊かな自然環境と地域資源を活かした、農業・観光等のふるさと情報を都市住民に提供するとともに、農林業に親しむ体験を通じて生産者と消費者の交流を促進する施設として設置されたもの	施設の活用として、各種団体へ貸し出しを行っているのと合わせ、屋外交流スペースについては、定期的に地域住民がまちづくりと合わせた地域活性化の取り組みを行い、地域の交流の場として活用している。	1,193	改善の余地あり	改善の余地あり	改善の余地あり	変化なし	変化なし	交流人口拡大を図るための地元による利活用はあるが、施設規模が大きく利活用の使用料と維持費のバランスがとれていない。	施設の事業目的としての役目は終了と思われる上、維持費もかかっているため、事業の廃止を検討してください。
10	産業経済部会	観光課	観光振興一般事務費（観光・商工業活性化事業補助金）	観光や商工業の推進による魅力あるまちづくりの推進と交流人口の増加を図ることを目的とする。	事業の目的を達成するための実施事業に対して補助金を交付。 令和6年度は（一社）高梁市観光協会に補助金を交付し、各種イベントや広域連携誘客事業を実施予定。	2,830	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	多面的かつ柔軟な事業展開が必要な観光施策推進のため妥当な手法であるとともに、継続して実施すべき事業である。	継続

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
11	産業経済部会	観光課	日本遺産推進事業	令和2年に「「ジャパンレッド発祥の地」- 弁柄と銅の町・備中吹屋一」として日本遺産に認定された吹屋等の更なる深化や認知度の向上等を図ることにより、誘客等地域活性化に繋げる。	日本遺産関連商品・サービス開発支援事業、弁柄等関連文献調査事業、吹屋周遊事業、構成文化財等解説版修繕事業、案内看板設置事業、構成文化財修繕事業、PR活動等	10,246	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	日本遺産の価値をさらに高めるため、関係機関との連携をより強化しつつ、継続して実施すべき事業である。	開発した観光コンテンツや吹屋の観光資源を活用した日本遺産としての認知度向上のための取り組みを、吹屋地域の観光客数や観光消費額の増加といった地域活性化につなげてください。
12	産業経済部会	観光課	観光振興一般事務費（グリーンスローモビリティ運行管理委託料）	吹屋地区に点在する観光地を結ぶ2次交通手段の確保と観光誘客コンテンツとして滞在時間の延長と観光消費の向上	4月から11月末までの主に土日、祝日の運行で、旧吹屋小学校を起点終点とし、吹屋の町並みを周遊するコースと、下町駐車場を発着に笹畝坑道やベンガラ館を経由して広兼邸までを往復するルートを2台のグリスロで運行と、車両自体の管理等を委託するもの。	2,286	適切	改善の余地あり	適切	変化なし	増加	ある程度の利用者負担は必要であり、早期有償化を条件に実施すべき事業であると考えます。	
13	産業経済部会	産業振興課	中小企業資金融資利子補給事業	中小企業の育成を図るために必要な資金の融資を促進する措置を講ずるとともに、利子補給や信用保証料補給を行い中小企業の経営を支援する。	「中小企業振興資金融資制度利子補給事業」、「中小企業設備近代化資金融資利子補給事業」、「緊急経済対策資金利子補給事業」、「災害対策中小企業融資利子補給事業」、「新型コロナウイルス感染症関連融資利子補給」、「中小企業振興資金補償融資損失補てん金」を実施することで、岡山県信用保証協会に対し保証料補助金、市内中小企業者等に対し利子補助金の交付を行っている。	3,521	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	雇用や生活基盤確保のため中小企業支援は必須であり、継続して必要な事業である。	継続
14	土木部会	都市整備課	地域優良賃貸住宅整備事業	居住の安定に特に配慮が必要な子育て世帯に、居住環境が良好な地域優良賃貸住宅を建設し、若者子育て世帯の定住を図る。	これまで6団地14戸を管理しており、若者子育て世帯の定住に一定の効果を発揮してきた。そのため、引き続き住居環境の良好な賃貸住宅を供給し、若者の定住・子育て支援を図る。	17,947	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	通学の問題、親との同居問題、継続居住（市内定住）の観点など、対象者のニーズが変化していくと思われる。制度の拡充と新規建設計画のバランスをとっていくためにも、事業の進め方を継続検討していく事業だと考えています。	戸建て住宅は子育て環境には適していますが、収入が少なくコストバランスが悪いので、直営による運営とPFI等の民間活用による運営を比較し、ニーズ対応も含めて事業の進め方を検討してください。継続する場合は、ニーズに合わせた補助要件の緩和について、国へ要望する等してください。

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
15	土木部会	上下水道課	小規模飲用水供給施設整備事業	水道未普及地における地域住民の飲用水不足の解消、公衆衛生の向上及び生活環境の改善を図る。	以下の事業を実施する個人等に対し予算の範囲内で補助金を交付する（事業費に対する補助金額：【 】）。 (1)水道未普及地区で行う配水本管等の新設事業に係る給水に必要な一体的な設備費【1/2以内】 (2)既存施設の区域拡張工事に係る工事費【1/2以内】 (3)補助を受けて設置した施設で、経年劣化によるポンプ修繕又は交換に係る費用【1/3以内】 (4)受益者1戸又は複数戸の既設給水設備において、水質改善に必要な滅菌装置・ろ過装置の新設にかかる費用（限度1回）【1/2以内】 (5)補助を受けて設置した施設で、災害等による施設の修繕又は交換にかかる費用【1/3以内】 (6)その他市長が特に必要があると認めるとき	0	適切	適切	適切	変化あり	減少	水道未普及地に対しての制度としては不可欠と考える。今後においても、自己水源の不安定や、集落人口の減少や高齢化による地域の困りごとは増えると思われるので、今以上の支援体制と制度の拡充を考えていかなければならないと考えます。	継続
16	土木部会	西部土木事務所	単市土地改良事業（農林業団体育成振興事業補助金）	農業団体の健全な育成のため、活動に要する経費を支援する。	湯野土地改良区に対し補助金交付要綱に定めた金額を交付。 農業団体（湯野土地改良区・山光園営農組合）に対し電気代高騰分の補助金を交付。	3,185	適切	適切	適切	変化あり	増加	農業基盤確保のためある程度の支援は必要だが、受益者による経費軽減のための対策もあわせて必要である。	継続
17	市民生活部会	市民課	まちづくり支援事業	少子高齢化等により地域人口及び活動人材は減少し、今後のコミュニティの維持が困難になってきている。そのような中で、地域のまちづくり関連事業への支援を行い、地域住民による自発的で持続可能なまちづくり活動を促進する。	【研修会の開催】住民主体のまちづくりを進めるために、地域課題解決に向けた研修会等の開催や県等主催の研修会へ参加し、先進事例を学ぶ。 【コミュニティ助成事業補助金】地域コミュニティを支援することにより、活動体制を維持し、コミュニティ活動の活性化を行う。 【地域振興事業補助金】地域から要望のあった制度では対応できないような案件に対して弾力的で迅速に対応する。	2,225	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	事業についてはいづれも活用が図られており、継続と考える。 地域のまちづくり活動に生かしていくため、計画的に研修等にも取り組んでいく必要がある。	継続
18	市民生活部会	市民課	地域振興基金運用事業（地域振興助成事業補助金）	地域資源を生かした自主的・主体的なまちづくり活動事業を継続して推進していく事業に対して補助金を交付する。	各イベント実行委員会に対して補助金を交付し、魅力あるまちづくりとの推進と交流人口の増加に資する活動に役立ててもらう。	6,850	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	変化なし	地域振興基金の運用に係る検討経緯に基づき、地域を代表する事業に対する補助制度としている。見直し等については、地域の状況や意向を踏まえて継続的に考えていく必要がある。	地域の状況や意向を踏まえた適正なイベント規模で実施してください。

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート式 のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
19	市民生活部会	市民課	結婚・出産祝金支給事業	過疎化・少子高齢化の進行が著しい本市において、次代を担う子の誕生を祝い、出産祝金を支給することで地域福祉の向上を図る。	該当の婚姻届提出者に対して2千円程度の結婚記念品を支給。 高梁市に居住している者に第1・2子に2万円、第3子以降に3万円の出産祝金を支給 (平成27年度～29年度にかけて、第3子50万円・第4子以降100万円として出生時・1歳到達時・小学校入学時に分割支給)	11,400	適切	改善の余地あり	改善の余地あり	変化あり	変化なし	出産祝金としては事業終了し、子育て支援の枠組みの中で拡充が図られている。 婚姻届出時には、活用してもらえ事業等の情報提供に注力していきたい。	この事業は廃止し、結婚記念品は別の方法で在庫がなくなるまで配布してください。
20	市民生活部会	市民課	コミュニティプラザ管理運営事業	福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして設置されている施設の維持管理を行う。	高梁市コミュニティプラザ（横町1558-1）の維持管理・貸館業務のため、会計年度任用職員1名を設置し対応している。 (昭和55年建築、鉄筋コンクリート造2階建) 【利用状況 R3 113件、R4 78件、R5 80件】 利用内容…神楽、体操、学習会、会議等	2,804	改善の余地あり	改善の余地あり	改善の余地あり	変化なし	減少	設置の目的や経緯から、慎重な対応が必要であるが、施設の状態や利用状況に応じて今後の方針を考えていく必要がある。	会計年度任用職員の登用は廃止し、建物については老朽化も進んでいることから建設時の経緯等に注意しつつ、再配置方針に従って5年をめどに廃止する方向で検討してください。
21	市民生活部会	住もうよ高梁推進課	定住促進対策事業（子育て世帯賃貸住宅建設促進助成金）	次世代を担う若者の定住促進を図るため	○高梁市立地適正化計画の居住誘導区域内への建設 住宅建設費用の1/10 市内業者建設 上限100万円/戸 市外業者建設 上限 70万円/戸 ○高梁市立地適正化計画の居住誘導区域外で市が指定する地域への建設 住宅建設費用の1/20 市内業者建設 上限 50万円/戸 市外業者建設 上限 35万円/戸	0	適切	適切	適切	変化あり	増加	都市整備課が直営により、定住促進に寄与するオーダーメイド住宅(川上町地頭)や子育て支援住宅(備中川面駅前)の整備を進めているが、需要に見合う整備に至っていないことが様々なアンケート結果に現れている。また、高梁市公共施設等総合管理計画に沿って、セーフティネット系の住宅供給戸数の縮減にも努めているところであり、補助制度を継続して、世帯向け賃貸住宅の整備を民間活力によって進めるべきである。	継続
22	市民生活部会	住もうよ高梁推進課	定住促進対策事業（まちづくり結婚推進連絡会補助金）	市内に在住する結婚適齢者の結婚を推進するため、高梁市まちづくり結婚推進連絡会に助成を行う。	・結婚適齢者の交流会等の開催 ・縁結びサポーターとの情報交換会の開催 ・県「縁結びネット」への登録者に対し、婚活応援金を交付 ・結婚応援プロジェクトの登録者に対して、マリッジカウンセラーによる助言のもと成婚へと導いていく	1,318	適切	適切	適切	変化あり	増加	少子化対策の入り口部分となる結婚推進がクローズアップされている。 高梁市まちづくり結婚推進連絡会の組織体制を見直すとともに、R5下半年期拡充施策の成果(費用対効果)を確認しつつ、関係課の若手職員の意見を参考にして新たな施策を展開すべきである。	結婚推進連絡会のあり方について、対象者のニーズに合わせた支援強化が図られるように組織体制を見直してください。
23	市民生活部会	環境課	脱炭素社会推進事業	脱炭素社会の実現に向け、省資源・省エネルギー対策の推進及び地域全体からの温室効果ガスの削減を目指す。	・環境負荷の小さい電気自動車等の普及促進 ・公用車の更新時期に合わせて、環境負荷の小さいプラグインハイブリッド自動車、電気自動車などの次世代自動車等の低公害車の導入を推進 ・「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定による区域内での効果的な施策の検討及び施策の計画的な推進	6,738	適切	適切	適切	変化あり	増加	2050年カーボンニュートラルを目指す中、本年度は地球温暖化対策実行計画の策定することとしており、次年度以後はさらに意識啓発や機運醸成を図る必要がある。事業の内容や効果を考えながら、施策の充実を目指していきたい。	継続

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
24	健康福祉部会	健康づくり課	母子保健事業	保護者の不安の軽減や、子どもの健やかな成長のため、妊娠期からの切れ目ない支援を行う	①要観察児教室：1歳6か月児健診・2歳6か月児健診で経過観察が必要となった児の保護者が、遊びを通してかかわり方やコミュニケーション力を高める教室 ②ママ・サポート119：緊急時に市外の産科医療機関にかかる妊婦さんの安心・安全なお産をサポートするため、妊婦事前登録によりスムーズに救急搬送を行う	1,753	適切	適切	適切	変化あり	増加	妊娠、出産、子育ての不安を取り除き、子どもの健やかな育成のための重要な事業と考える。	継続
25	健康福祉部会	健康づくり課	各種がん検診	高梁市では年間、100人以上ががんで死亡しており、高梁市の死亡順位の第1位を占めている。そのため、検診によるがんの早期発見・早期治療を行い、がんによる死亡の減少を図るとともに、健康教育を実施しがんの知識の普及啓発を図る。	医療機関で実施する個別検診と検診機関に委託して地域で実施する集団検診 大腸がん検診キャンペーンの継続	30,649	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	変化なし	がんは現在では早期発見・早期治療により高い確率で治癒する病気となった。このことをさらに周知し、受診率を上げる工夫をしたうえで継続していく必要がある。	受診率を上げるために、受診率が高い他自治体の取組を参考にすると等して、医療機関の協力体制を構築してください。
26	健康福祉部会	健康づくり課	産後ママ安心ケア事業	核家族化、地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきており妊娠・出産・子育てに係る妊産婦等の不安や負担が増えてきている。そのため、出産後の母子に対して退院直後から心身のケアやサポート等を行い、出産後の育児不安の軽減と母子の健康増進を図る。	1. 乳房管理 2. 沐浴や授乳等の育児指導 3. 産婦の母体管理や生活面の指導 4. 産婦に対する心理的ケアやカウンセリング 5. 産後ケア入院（産後の心身の不調または育児不安がある者）、令和5年度から市のベビーファーストの取組として、こども未来課と連携した子育て応援チケットを発行し、産後ママの母乳相談を初回無料とする。	248	適切	適切	適切	変化あり	増加	出生が減少しているため実績も少ないが、少子化・子育て支援施策として必要な事業である。	利用希望者にとってより使いやすい事業となるようさらなる周辺自治体との連携事業を検討してもらうことを県に要望してください。
27	健康福祉部会	福祉課	人工透析者交通費支給事業	医療機関に通院して人工透析を受けている者に対し、交通費の一部を助成することにより、家庭生活の安定と福祉の向上に寄与する。	人工透析通院治療に要した交通費の半額を支給	5,434	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	引き続き実施する必要があると考える。	継続
28	健康福祉部会	福祉課	障害者外出ガイドヘルプ事業	外出のための移動が困難な障害者等に対する外出時の支援	障害者等の社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出時の支援を行うため、ホームヘルパー等による個別支援を行うもの	2,125	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	引き続き実施すべき事業と考える。	継続

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
29	健康福祉部会	福祉課	ひきこもりサポート事業	ひきこもり支援に関する相談窓口の設置及び周知、ひきこもりの実態把握、社会参加への支援につなげるための関係機関とのネットワークづくり、ひきこもり状態にある本人や家族が安心して過ごせる居場所づくり等を通じて、ひきこもり支援の基盤を構築し、ひきこもり状態にある者の状況に応じた社会参加に向けた支援を図ること。	NPO法人に業務を委託している。	4,070	適切	改善の余地あり	改善の余地あり	変化あり	増加	今後もひきこもり支援が必要な者の増が予測されており、新たな対応策も検討しつつ継続していく必要がある。	ひきこもり支援が必要な人は増加傾向にあり、様々な社会問題にもつながるため、新たな対応策も含め支援体制の強化を図ってください。
30	健康福祉部会	福祉課	生活困窮者自立支援事業	平成27年4月から施行された生活困窮者自立支援法に基づき生活困窮にある者や将来困窮するリスクの高い者への支援を早期に行うことにより、困窮状態からの早期脱却を目指す。	自立相談支援事業、住宅確保給付金及び家計改善支援事業を実施する。 ネットワーク連絡会の開催、住宅確保給付金を除き、引き続き高梁市社会福祉協議会への事業委託する。 就労準備支援事業を継続実施することで、就労支援に力を入れる形を取り、効果的に生活困窮からの脱却を促進する。	14,100	適切	適切	適切	変化あり	減少	生活困窮者自立支援法に基づく事業であり継続が必要。	継続
31	健康福祉部会	こども未来課	家庭児童相談事業	家庭における適正な児童養育、その他家庭における児童福祉の向上を図る。	家庭児童相談員1名を配置し、電話対応、家庭訪問、ケース会議に出席し、相談支援や関係機関との調整を行う。そして、児童虐待やヤングケアラー防止など適正な児童養育に向けて対応する。	2,743	適切	適切	適切	変化あり	増加	虐待事案等は増加傾向にあり、また困難化している中で、充実した相談体制が求められており継続していく必要がある。	深刻化する家庭問題に対応していくために、市内だけでは不足するマンパワーを補うための広域連携を図る等、支援体制の強化に努めてください。
32	健康福祉部会	こども未来課	母子・父子自立支援対策事業	母子家庭、寡婦及び父子家庭の福祉の向上を図る	母子・父子支援員を配置し、ひとり親の就労支援や経済的問題、DV等の相談支援を行い、自立した生活ができるように支援する。また、離死別直後や離婚前から相談される場合もあり、相談者に寄り添った制度説明や必要な情報提供、相談指導等の支援を行う。	2,743	適切	適切	適切	変化あり	増加	引き続き実施していく必要のある事業と考える。	継続
33	健康福祉部会	地域医療連携課	看護師等奨学金事業	市内看護師等の確保と、地域医療・福祉の向上を図ることを目的とする。	奨学金（月額50,000円）を貸付期間の3倍に相当する期間で返還（但し市内で看護師等として勤務した場合は、奨学金の返還の一部又は全部を免除する）する。	4,200	適切	改善の余地あり	改善の余地あり	変化あり	変化なし	一定の効果が出ており、地域医療体制の維持に寄与しているため、継続が必要と考える。	本市の支援が他市より手厚いことについて、学生へのPRを強化するために、医療機関の協力を得ることを図ってください。

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
34	健康福祉部会	地域医療連携課	地域医療推進事業	団塊の世代が後期高齢者となる2025年度（令和7年度）を目途として、持続可能な地域医療体制を構築していく。	平成30年5月に策定した高梁市医療計画に基づいて、計画に掲げている100の取組みを具現化するため、高梁市医療計画検討委員会や高梁市医療機関連携推進部会を開催している。	81	適切	改善の余地あり	適切	変化あり	増加	過疎地域の医療体制の維持は非常に厳しい状況であり、そのために本市では市町村としては珍しい医療計画を策定し、これに基づき医療関係者等の意見を踏まえた事業を展開している。今年度第2次計画の策定に取り掛かっており、第1次計画の実績と検証を踏まえ、引き続き実施する必要がある。	第2次計画策定にあたり、有効性の低い事業を見直してください。
35	健康福祉部会	健幸長寿課	介護福祉士養成修学支援事業（介護）	介護福祉士の資格取得を目指す学生に奨学金貸付等の修学支援を実施する介護事業所に対して、その経費の一部を助成し、介護人材の確保及び介護サービスの質の向上を図る。	補助対象経費の3分の2以内とし、1人60万円を限度に、予算の範囲内において交付する。	0	改善の余地あり	適切	改善の余地あり	変化あり	増加	R5年度「介護人材養成修学支援事業」と「介護人材確保対策事業の一部」については、R6年度から「介護医療人材確保等対策事業（介護）」に集約。 R5年度の実績はなかったが、R6年度は介護事業所からの活用希望もあり、改善しつつ継続する必要がある。	介護福祉士の確保・定着は、高齢化が進む本市において優先的に取り組む課題であり、市内介護事業所で働き続けてくれる人を増やすために、業務効率化・働き方改革推進支援事業と合わせた効果的な事業内容となるよう周知と強化を図ってください。
36	健康福祉部会	健幸長寿課	老人クラブ活動事業	地域を基盤とした高齢者が自主的に集まり、高齢者の知識と経験を生かして地域を豊かにする活動を行うことで、高齢者の生きがいや健康づくり、明るい長寿社会の推進を図る	市内各単位老人クラブ、地域老人クラブ、老人クラブ連合会が実施する「趣味・教養活動」「健康づくり活動」「社会奉仕活動」等に対し、市が補助金を交付する。	330	適切	適切	適切	変化あり	I	健幸長寿に向けた老人クラブ活動は介護予防にもつながるものであり、引き続き継続すべき事業と考える。	継続
37	教育部会	こども教育課	保育士確保対策事業	保育士確保のための人材育成及び離職防止	私立保育園等保育士確保対策補助金：私立園2園（高梁中央保育園、おちあいこども園）に対し、保育士の処遇改善を行う場合に事業費の1/2（1人当たり上限46,620円）を補助。 保育士養成奨学金貸付金：保育士資格を取得後、市内で保育士等として勤務意志のある者に月額44,000円の奨学金を4期に分けて交付。	2,987	適切	適切	適切	変化あり	増加	【見直し検討】保育士確保が厳しい状況下、離職抑制のための施策として私立園の処遇改善は今後も必要と考える。保育士奨学金貸付については、他の奨学金が拡充する中、利用者減の要因等を検証し、より有効な仕組みになるよう研究は必要と考える。	奨学金貸付については、高梁市で保育士として就職した者を対象とした他市または民間奨学金返還金の補助制度等、より有効的な制度への転換・拡充を図ってください。
38	教育部会	こども教育課	特別支援教育推進事業	特別な支援を必要とする児童生徒等の自立と社会参加を目指す。	教職員への特別支援教育に係る研修の実施、特別支援教育支援員の配置、適切な教育支援、関係機関との連携	38,982	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	【継続】特別な支援を必要とする児童生徒の数は、引き続き増加傾向にあり、障害のある児童生徒の自立・社会参加に向けては、専門性の高い教員や支援員による指導・支援の継続が図られるように取り組む必要がある。	継続

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
39	教育部会	こども教育課	外国青年招致事業	ALTを配置することで児童の語学力向上の意欲を高め、国際感覚を身につけることを目的とする。	A L Tを小学校・園へも派遣し、学校での英語学習の充実、推進を図る。	49,247	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	【継続】グローバル社会が進む中、低年齢のうちから外国青年との交流、身近に英語に触れることで、異文化、多様性等への理解を深め、実践的英語力を身につけるため必要な事業と考える。この仕組みを活用することで、質の高い人材確保ができています。	継続
40	教育部会	こども教育課	芸術鑑賞推進事業	各校園で芸術に触れる機会を作り、未就学児、児童、生徒の豊かな感性を育み、情操教育を推進する。	高梁小、高梁中、玉川・松原・落合・福地各小学校合同、高梁東・高梁北・有漢・成羽・川上各中学校区、市内全園合同で実施する。	1,627	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	【継続】通常の授業では体験できない、本物の芸術に触れる貴重な機会であり、感動、夢等情操教育には必要と考えるが、事務手続方法について、検討の余地はあると考える。	継続
41	教育部会	こども教育課	県立高校魅力化事業	市内の県立高校の魅力化と教育体制の継続による地方創生を実現する。（特に各学校の入学増を目指すこと、100人以上の確保を図ること。）	・高梁城南高校全国募集の強化（地域みらい留学） ・高校の部活動支援（天満屋陸上部による部活動等の指導） ・広報活動支援（専門業者による高校の広報・PR支援） ・授業支援（高梁高校家政科の浴衣制作授業支援） ・県外からの高校・宿舍見学者への交通費等の支援	3,080	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	【拡充】県立2校のうち1校については、今年度県の再編基準である入学者100人を下回る状況となり、今後存続に向け、重要度の高い事業と考える。実質5年度からの実施で、このタイミングでの評価は難しい。	継続
42	教育部会	社会教育課	文化振興基金運営事業	本市の文化芸術活動及び歴史的文化の保護、保存と活用を図り、もって市民文化の振興を図る	・文化振興基金を活用し、文化芸術の振興や歴史的文化の保存と活用のための事業に対して、事業費の助成を行う。広報紙で事業を公募し、審議会に応募事業を審議し、文化振興基金からの補助金の交付を判断し採択。交付決定の下りた事業について助成を行っている。（事業費の1/2以内の補助） 【参考】対象事業：(1)歴史的文化的の調査・保護(2)文化の普及・顕彰(3)文化の交流・研修(4)優秀芸術の誘致・収集(5)文化施設の整備(6)歴史的な重要施設の整備(7)その他	6,287	適切	適切	適切	変化あり	増加	【継続】文化財の保存・保護活動においては、基金は必要な事業であるため、今後の安定的運用に向けて、原資の調達、充当等についての方策を検討していく。	文化芸術の振興を担う組織・団体の弱体化が進行するほど事業の必要性は高まっていくため、振興基金の安定的運用に向けて、原資の調達、人材の確保等についての方策を検討してください。

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
43	教育部会	社会教育課	地域子育て創生事業	<p>・親子で楽しめる講座や体験活動を通じ、就学前の子どもをもつ保護者が子育てや生活環境に関する不安や悩みを相談できコミュニケーションが図れる環境づくり</p> <p>・子どもたちが夢や目標に向かって前進していくきっかけとなる体験等の実施</p>	<p>・親子ふれあい交流フェスタ 体験活動や読書活動等の良質な学習活動を通じて、子どもと親に学びの機会を提供し子育て支援のネットワークを構築・強化する。</p> <p>・たかはし広がる子どもの夢事業 小・中学生を対象に医療従事者や図書館司書といった職業体験や星空観測などの体験事業を行う。</p> <p>・グッド・トイひろば グッド・トイに選定された木のおもちゃで遊びながら、親子や同世代、地域の人との交流を図る。</p> <p>・家庭教育支援講座 子どもの年齢に応じた子育てに関する様々な知識を深める講座を実施する。</p> <p>・ファシリテーター養成講座 家庭教育支援講座でも活用している「親育ち応援学習プログラム」の進行役を養成する。</p>	666	適切	適切	適切	変化あり	増加	<p>【継続】親子を対象にした各種行事について、他の組織等との連携、内容の見直し等工夫しており、参加者も確保できている。家庭教育に関しては、この事業が唯一であるため、今後も継続が必須な事業である。</p>	他事業と目的や内容が重複する事業については、関連部署と統合や廃止等の調整を進めてください。
44	教育部会	社会教育課	たかはし子ども応援事業	<p>学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育むための仕組みである「学校運営協議会制度」（コミュニティ・スクール）と、幅広い地域住民や企業・団体当の参画により、子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）を一体的に推進することを目的とする。</p>	<p>・地域学校協働活動（学校における働き方改革を踏まえた活動） 地域と学校の連携・協働のもと、子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動。</p> <p>・放課後子ども教室 学校と余裕教室等を活用してさまざまな学習や体験・交流ができる器械を定期的・継続的に提供する放課後等の支援活動。</p>	367	適切	適切	適切	変化あり	増加	<p>【継続】学校と地域の連携の充実には、今後学校再編せざるを得ない本市にとって、より工夫が求められると考える。地域資源の確保、「学校単位の地域とのつながり」を今後どう維持していくのが課題である。</p>	継続
45	教育部会	スポーツ振興課	スポーツ交流推進事業	<p>天然芝サッカースタジアムの利を活かして、スポーツ振興を図り、スポーツで元気にすることを目的に、施設の有効活用、全国発信、交流イベントの開催等を実施する。吉備国際大学シャルム岡山高梁をスポーツ振興・交流の要と位置付け、本市のスポーツ振興並びにスポーツ交流人口の拡大を図る。</p>	<p>吉備国際大学シャルム岡山高梁の組織力・チーム力を強化するため運営補助を行い、シャルムスタジアムを核とした市民のスポーツ交流機会の促進を図る。</p>	6,600	適切	適切	適切	変化あり	増加	<p>【継続】地域密着型のスポーツチームとして、地域貢献への意識も高く、知名度・応援の気運も高まっている。(一社)高梁スポーツクラブは引き続き、財源獲得に向け、会員・寄附金等の拡大を図る必要があるため、市としても支援が必要と考える。</p>	継続

# 令和6年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R5事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
46	教育部会	スポーツ振興課	スポーツふれあい交流事業	仲間と協力すること、目標をもつことの大切さなどをスポーツを通じて様々な経験をしてきたトップアスリートの授業から学んだり、ゲームの時間を通じて体験したりすることで児童生徒が将来の夢・目標をもつことの大切さを考える機会とする。	【夢の教室「ユメセン」】・・・日本サッカー協会委託事業。各競技のトップアスリート等の協力を得て、彼らを「夢先生」として小中学校に派遣してもらい「夢の教室」と呼ばれる授業を行う。市内各小学校5年生、各中学校2年生を対象として行っている。	2,913	適切	適切	適切	変化あり	増加	トップアスリートの紆余曲折した体験談の聴講などを通して、目標や夢を持つこと、協力することの大切さの学びは、人材育成の観点から貴重な機会である。多様な価値観がある中「アスリート」に限定するのではなく、芸術・文化等のあらゆる分野での人材や地域の人的資源等の活用等検討の余地はあると考える。	子供たちにとって、大変貴重な経験を得られる事業であり、スポーツ以外の芸術や文化等の講師の招聘も検討し、より効果の大きな事業となるよう工夫してください。